

商店街等モデル創出普及事業

令和3年度予算額 28,805千円

1. 目的

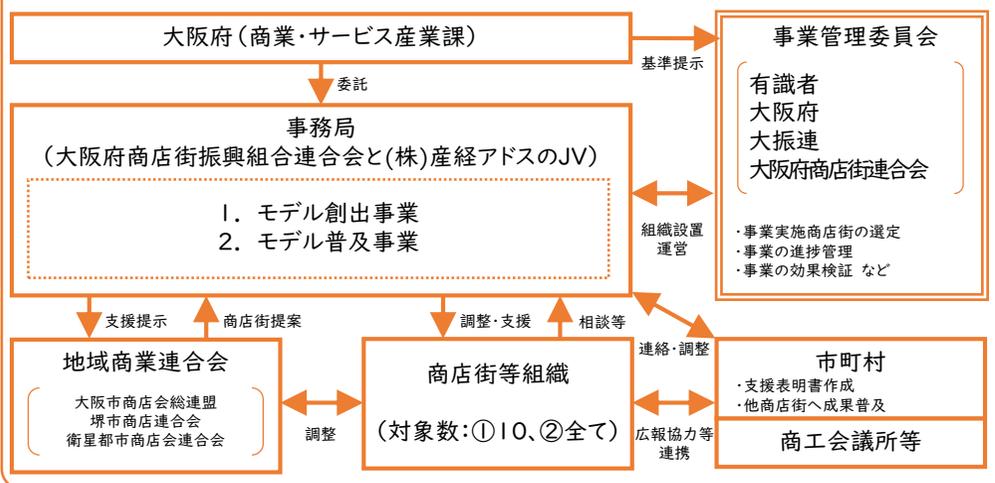
大阪府では、コロナ禍の影響が続く中、地域商業や地域コミュニティの担い手として重要な商店街において、令和2年度に実施した府緊急対策の成果を活かし、新しい生活様式（ニューノーマル）に沿った「ICT活用」や地域内経済を循環させる「バイロカル」の「モデル創出」や「成果の普及」に取り組む商店街等モデル創出普及事業を実施します。

※令和2年度に実施した府緊急対策とは、大阪府商店街感染症対策等支援事業のこと。府では、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、日常生活を支える商店街と訪れる府民の皆さまの不安を払拭し、安心して買い物をしていただけるよう、モデルとなる107の商店街を選定し、「みんなで守ろう。おおさか」をスローガンに、「感染症対策」と「需要喚起」を支援する取組みを実施。

2. 概要

1. モデル創出事業 10商店街で、モデル事業を実施（10件×1,000千円以内）
2. モデル普及事業 商店街アドバイザーによる相談サポート、先進モデル事例の収集と特設HP等での情報発信、各市町村向けセミナー等の開催 等

3. 実施体制



4. 実施商店街

組織的に自主的な感染症対策や需要喚起対策に取り組むとともに、新しい生活様式に沿った「ICT活用」や地域内経済を循環させる「バイロカル」に取り組む意欲が高い商店街等組織(※)

(※ 府緊急対策を実施、又は同程度の感染症対策を実施している府が認めた商店街であることが必要)

7. スケジュール

	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
モデル創出	実施商店街募集 → 決定	モデル事業		
モデル普及	①②③相談対応等、⑤情報発信 ▲市町村研修会		▲商店街セミナー	▲プレゼン大会
				効果検証 ↓ 委員会報告

5. 実施内容

項目	実施内容	成果(案)
モデル創出	○ 10商店街で、モデル事業を実施 > 令和2年度の府緊急対策の成果を活かし、新しい生活様式に沿った「ICT活用」や地域内経済を循環させる「バイロカル」のモデルを創出	○ モデル事例創出
モデル普及	① 商店街や市町村からの相談対応 > 商店街アドバイザーを配置し、活性化に向けた相談に対応 ② 商店街サポーターの発掘・募集 ③ 国事業の活用を見据えた支援 > 国事業=中小事業者等の機能活性化事業 ④ 商店街や市町村にモデル事例を普及(※) > 市町村向け研修会、商店街向けセミナー、モデル事例発信プレゼン大会を実施 ⑤ 特設ウェブサイトを通じた情報発信	① アドバイザー対応、商店街マニュアル ② サポーターリスト ③ サポーター派遣 ④ 研修会等の実施、実施レポート ⑤ コンテンツ充実事例集制作

6. 目標・効果検証

- ① 成果目標:ニューノーマルに沿ったモデル数:10件
国事業へのエントリー数:1件
- ② 効果検証:店舗・来街者等へのアンケート調査実施